

看護の日に健康チェック

5月14日、市立恵那病院で「看護の日」イベントが行われました。これは、ナイチンゲールの誕生日である5月12日を「看護の日」として制定されたことに伴う全国的なイベント。市立恵那病院では、計測機器による測定で健康状態を知ってもらおうと毎年行っており、この日は、身長・体重・血圧・脈波・骨密度の測定が無料で行われました。会場には約100人が訪れ、計測結果から体の健康状態を確認し、健康維持の大切さをあらためて感じていました。



身長や骨密度などの計測を行う来場者

保護者も参加、下校訓練

高い確率で起きるといわれている東海地震に備え、5月16日、大井小学校で、災害などの緊急時に児童を安全に保護者へ引き渡し下校させる訓練が行われました。訓練が始まると、先生の指示により児童たちは学年ごと順番に運動場へ避難しました。

同校の西村校長は「一人一人が真剣に取り組むことがみんなの安全につながります」と訓練の必要性を話し、その後、学年ごとに先生が確認をしながら児童を保護者へ引き渡しました。



保護者を確認し児童の引き渡しをする先生

火災の怖さと予防を知る



伊藤消防団長から隊旗貸与を受ける大島隊長

5月4日、恵那文化センターで市少年消防隊入隊式が行われました。同隊は市内小学校の5、6年生で組織しており、本年度は73人の児童が入隊し総勢143人の隊となりました。

式典で可知市長は「火災の怖さと予防をしっかり学んでほしい」と激励のあいさつをし、同隊隊長の大島祥生君（串原小学校6年生）は「火災予防を心掛け、模範となる隊員を目指します」と力強く誓いの言葉を述べました。

お手玉上手にできるかな



お手玉の手ほどきを受けながら楽しむ子どもたち

5月5日、道の駅「おばあちゃん市・山岡」で、こどもの日イベントがあり多くの観光客でにぎわいました。会場では、地元山岡町の竹友の会と、なかよし会のメンバー約10人による昔の遊び体験コーナーが設けられ、訪れた子どもたちに竹馬やお手玉などを教えました。

この日は、もちつき大会も行われ、もちつきが始まると多くの観光客が取り囲み、「よいしょ」と一緒に掛け声を上げていました。

華やかな戦国絵巻

5月3日、明智町で名将光秀公をしのぶ「第36回光秀まつり」が開催されました。日本大正村を練り歩く行列は、ことし初めて一般公募した光秀公を先頭に、地元の小学生が扮する武将行列や、江戸時代の本物の火縄銃を持った鉄砲隊、日本大正村の司葉子村長の乗る山車まで、総勢約120人が参加。訪れた観光客は、当時を思わせる行列に見入っていました。午後からは行列に参加した鉄砲隊が、火縄銃の実演を行いました。



一般公募による光秀役、大井町在住の鈴村侑子さん

めれた囃子に杵振り踊り

5月3日、中野方町笠置神社の境内で春の例大祭が行われました。

同大祭では、中野方小学校の児童らによる子どもみこしの奉納や中野方音頭の披露、市指定無形民俗文化財のめれた囃子に合わせ、地元保存会の皆さんによる杵振り踊りなどが奉納されました。

この日は、夏を思わせる絶好の祭り日和となり、町内外から約1,000人の観光客が訪れ、お祭りを楽しみました。



地元保存会による杵振り踊り

岩邑小に和太鼓が響いた



加藤拓三さんの和太鼓を聞き入る全校児童

5月1日、大井町出身で現在は米国ロサンゼルスに在住の和太鼓奏者の加藤拓三さんが、岩邑小学校の全児童304人に力強い和太鼓を披露しました。

岩邑小学校では命の大切さを学ぶ「生命を考える集会」を、10年ほど前から継続して行っています。この日のテーマは「挑戦」。加藤さんはふるさとを思う気持ちの大切さ、大きな夢に向かって目の前のことを一つ一つ挑戦していくことの大切さを、太鼓の演奏を交えて熱く語り掛けました。

日本3村サミット開催決定



事業開催に向け協力を呼び掛ける司葉子村長

5月2日、市役所会議棟で平成20年度第1回大正百年事業実行委員会が開催され、9月13日の大正浪漫シンポジウム、11月3日の日本3村サミットの開催が決定しました。日本3村サミットでは、明智かえでホールを会場とし、3村長（日本大正村＝女優・司葉子さん、日本昭和村＝女優・中村玉緒さん、明治村＝俳優・小沢昭一さん）による座談会が行われます。同会実行委員長を務める司葉子さんは、「皆さんで盛り上げましょう」と意欲を伝えました。

『 近江八景 ~ 水辺の情景 ~ 』

中山道広重美術館
企画展覧会

会期
6/18(水) ~ 7/21(月)

会館時間 午前9時半 ~ 午後5時(入館は午後4時半まで)

観覧料 ▷大人 = 500円(団体400円) ▷小・中・高校生 = 300円(団体240円)

毎週月曜日(祝日を除く)・祝日の翌日(土日・祝日を除く)休館。

問い合わせ 中山道広重美術館 ☎20 0522



歌川広重
「近江八景之内 唐崎夜雨」

大判錦絵 田中コレクション
1834(天保5)年

近江八景とは琵琶湖周辺の八つの景勝地のことです。本図は湖畔にある唐崎神社を雨の景で描いています。青と黒の少ない色数でありながら、雨にけぶる情景が巧みに描かれています。

本展では、広重が描いた近江八景のシリーズを紹介するとともに、「水辺」の風景を描いた作品を展示します。また浮世絵ナビルームでは、新たに本図の3色重ねずりをお楽しみいただけます。

第1日曜日は
「市民の日」

毎月第1日曜日を「市民の日」とし、観覧料を無料とします。気軽に美術の世界に触れていただき、美術を中心とする文化活動やまちづくり活動の拠点に活用いただけるよう願っています。

グリーンカーテンで涼しく

5月21日、大井第二小学校のみどり学級とさくら学級の児童4人が、夏の日差しを植物の力でさえぎる「グリーンカーテン」作りを行いました。これは関西電力㈱が、次世代層への環境意識啓発の一環として行う事業で、児童と一緒にゴーヤの苗12本を4つのプランターに分けて植え付け作業を行いました。このゴーヤは、7月中旬には教室の窓を覆うくらいに成長する予定で、児童らは「水をあげるのを忘れないで、大きく育てたい」と話しました。



指導を受けながらゴーヤを丁寧に植える児童

壮大な石垣から時代を見る



現地学習会で石垣の説明を受ける参加者

5月17日、城下町ホットいわむら・歴史掘りおこし委員会は、城郭研究家の関口宏行さんによる岩村城跡現地学習会と講演会を開催しました。

学習会には約100人、講演会には約150人の参加があり、同城の石垣は修復された時代によって技術や形の違いを見比べることができることや、山城では珍しく井戸が多く水が豊富にあったことなどの説明を受け、参加者はメモを取りながら熱心に聞いていました。

棚田の文化を伝える学習

5月22日、中野方町坂折棚田で中野方小学校の児童5、6年生32人による田植えの体験学習がありました。これは、棚田100選にも選ばれた地元の坂折棚田の伝統と文化を伝え、米作りの苦勞を知り食に感謝する気持ちを育てようとして行われています。

この日は、中野方棚田保存会の皆さんの指導を受け、約300平方メートルの田んぼに児童たちは丁寧に田植えをしていきました。秋には、地元のお年寄りらを招き、収穫したお米で五平餅を振舞う予定です。



丁寧に田植えをする児童

14の活動に助成が決定



計画を発表する活動団体のメンバー

5月18日、まちづくり市民活動推進助成事業「活動計画発表会」が行われ、事前の審査会で助成が決定した14の市民活動団体が、自分たちのまちづくりに対する意欲や熱い思いを参加した約70人の市民に発表しました。同活動団体は、これから市内でさまざまな活動を行っていきます。

この事業は、まちづくり活動を促進するために、市民の自主的・主体的な公益活動に対して助成を行っています。

2008 E N A みのりの祭り



E N A みのりの祭り20周年記念事業
青い山の麓 E N A ショートムービー
コンテスト募集

作品募集

今年で、20周年を迎える「みのりの祭り」の記念事業の一つとして、ショートムービーコンテストを開催します。私たちの手で現在の恵那の自然や文化、人々を、未来の恵那に伝えていくために企画しました。皆さんの目で心で見た等身大の恵那を「後世に残す」印象的な作品を募集します。

作品テーマ 「つながり」

制作条件 恵那市にまつわるもの(風景、文化、特

産品、人など)を取り入れる。

作品時間 10分以内

記録媒体 制作はフィルム、ビデオを問わず。応募はminiDVでの提出となります。

選考方法 専門家による審査と一般審査(応募多数の場合は一次審査有り)

エントリー料 無料

募集期間 9月11日(木)まで

応募資格 2008年以降の制作で他の受賞経験が無く、劇場公開、テレビ放映、有償でのビデオ・DVD販売、インターネット配信の無い作品。著作権については応募者(製作者もしくは監督)の団体に所属していることを条件とします。

説明会

コンテストについての詳細や映画塾など、今後開催予定の行事の説明を行います。

とき 6月13日(金) 午後7時

ところ 市共同福祉会館

共通

申し込み方法 恵那商工会議所に備え付けの申込書により申し込む

ウェブサイト <http://enasmc.blog61.fc2.com/>

申し込み・問い合わせ 恵那商工会議所青年部事務局 ☎26 - 1211 ☎25 - 6173 ✉enayeg@enacci.enat.jp